



やるきほんきき さきき

木佐木

前神奈川県議会議員
日本共産党

2023.1.18
木佐木ただまさ news
発行: 党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田3-147-6
TEL: 045-511-1021

Profile
・1984年山口県出身
・鶴見区馬場在住
・神奈川大学法学部卒
・よこはま健康友の会会長
・横浜東民商顧問

横浜ノース・ドックへの米軍揚陸部隊配備は中止を

意外と知らないかたも多いかもしれませんが、鶴見やお隣の神奈川区には米軍施設が存在をしています。特に、東神奈川駅から東側に進むとあるノース・ドックは横浜の港の一等地にあり補給・兵站・中継の仕事を担当してきました。行政は重要な施設でありながら、基地ではないと強弁してきました。しかし、そんなノース・ドックに13隻約280人規模で小型揚陸艇部隊が新しく編成・配備され出撃の拠点化されることが突如発表されました。ノース・ドックは、長年県民が即時返還を求めてきたもので、ここに常駐部隊を新設することは、基地の恒久化を意味するものです。

いったん有事となれば、真っ先に攻撃対象とみなされる。近隣には100万人を越す住民が生活し、横浜港に隣接して神奈川県庁・横浜市役所など県・市の中核機能が集中することから県全体にも影響を及ぼす極めて危険な計画です。日本共産党神奈川県委員会、県議団、横浜市議団は、配備の中止と危険を根絶させるためにもノース・ドックの即時返還を防衛大臣に申し入れました。

知事は、さらなる情報提供と必要な配慮を求めるだけで、配備を中止してほしいということはありませんでした。国言いなりの知事では、危険を除去できないことは明らかです。

このノース・ドックは、かつてベトナム戦争時に戦車を運び出す拠点であり、ベトナム戦争反対の人々が体を張って戦車が運び込まれるのを阻止した歴史があります。「新しい戦前」にさせないためにも、戦争準備ではなく、戦争回避の外交こそ実行させていきたいと思います。



ノース・ドック 画像：県 HP より

ただまさヒストリー

いよいよ神奈川大学へ

今、受験シーズン真っ盛り。皆さんは進学の際どのように進路を決めてきたでしょうか。

私は、母の活動を見ながら、困っている人を助ける弁護士になりたいと思っていました。

ちょうど、高校生の頃にロースクール構想が出ており、卒業すれば7割くらいの方が法曹になれると言われていました。なので、大学はあまり重視しておらず祖父母のいる関東で法学部がある神奈川大学を見つけ志望校に決めました。その後、高校に神奈川大学の法学部の指定校推薦枠があることを知り、飛びつきました。いよいよ願書を出すことになり、法律学科を志望しようとしたところ、うちの高校には法学部「自治行政学科」の枠しかないことに気づきました…。自治行政学科は、地方公務員などへの就職を視野に入れた学科のようで、少し回り道のように感じましたが、地方自治にかかわる地方議員・候補者として活動している今となっては、かじっておいてよかったと思っています。これも前回感じた「禍福は糾える縄の如し」だと思います。とはいえ、大事なことはちゃんと確認すべきですね(汗)